

科目名	看護と倫理Ⅱ (看護倫理)				DP1、DP2、DP6 DP3、DP5	看護高等課程	
学年	2年	分野	専門 基礎看護 看護概論	時間数	20時間	担当教員	専任教員
科目概要	看護倫理は看護活動の向かうべき方向や、看護活動時に判断基準、拠り所となる規範である。そのため、看護職に求められる倫理や看護の場で生じやすい倫理上の問題の背景を知り、事例を考察することで倫理的態度を培う基盤としていく。						
到達目標	1. 看護の倫理規定の基本を理解し、看護の場で生じがちな倫理上の問題をクリティカル・シンキングし准看護師としての行動の基盤にする。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～10	看護職者と倫理	看護の仕事と倫理、専門職としての倫理への取り組み、看護職の職場と倫理				講義	専任教員
	看護の場で生じやすい倫理上の問題とその対応	倫理上の問題が生じやすい背景、事例検討				講義 演習	
	試験					試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。 (ペーパーテスト、パフォーマンス課題、ルーブリック 合計100点)						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 5 基礎看護 [1] 看護概論 医学書院 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							